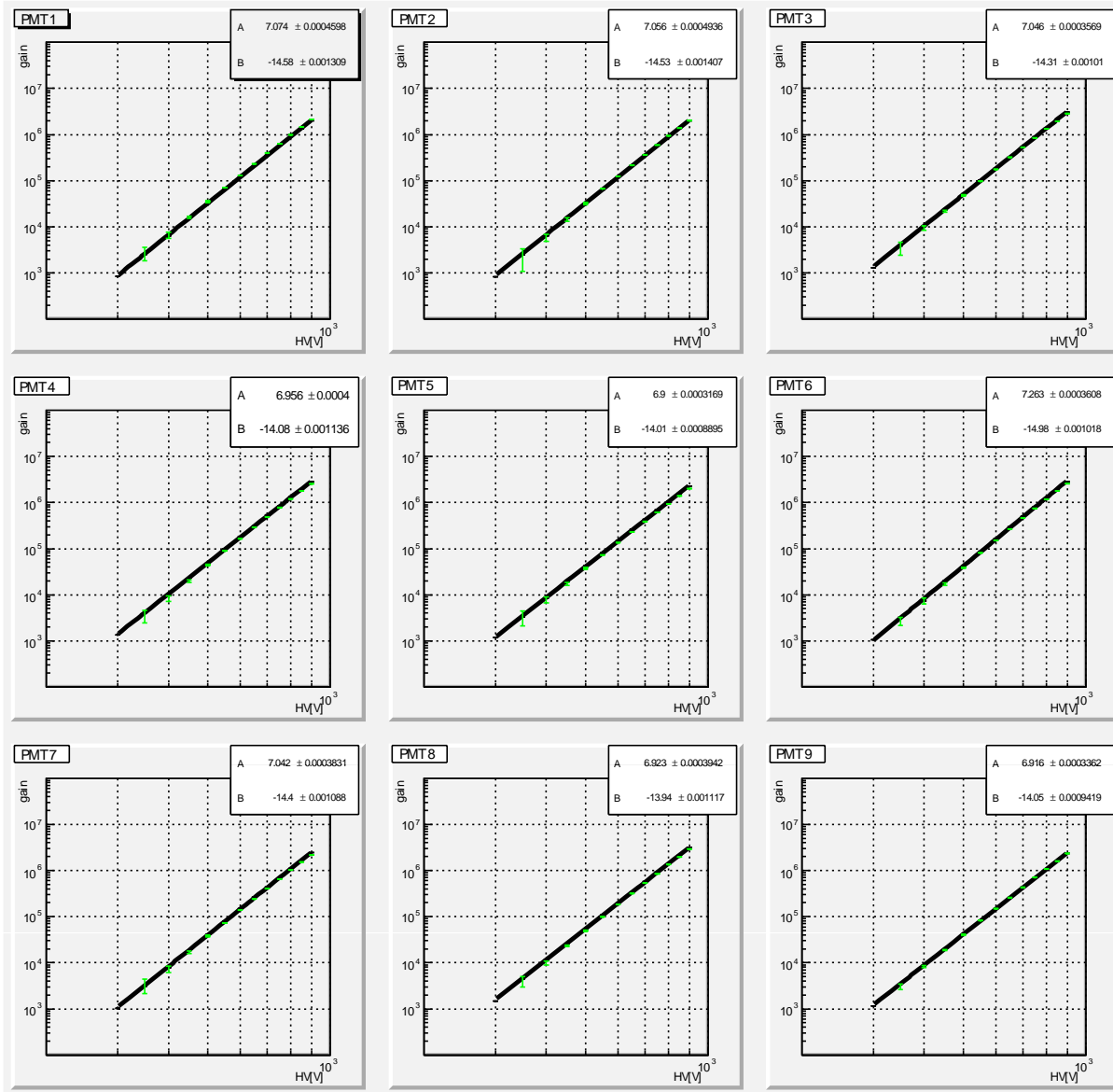


08/09/10 ミーティング

Masahiro Oroku

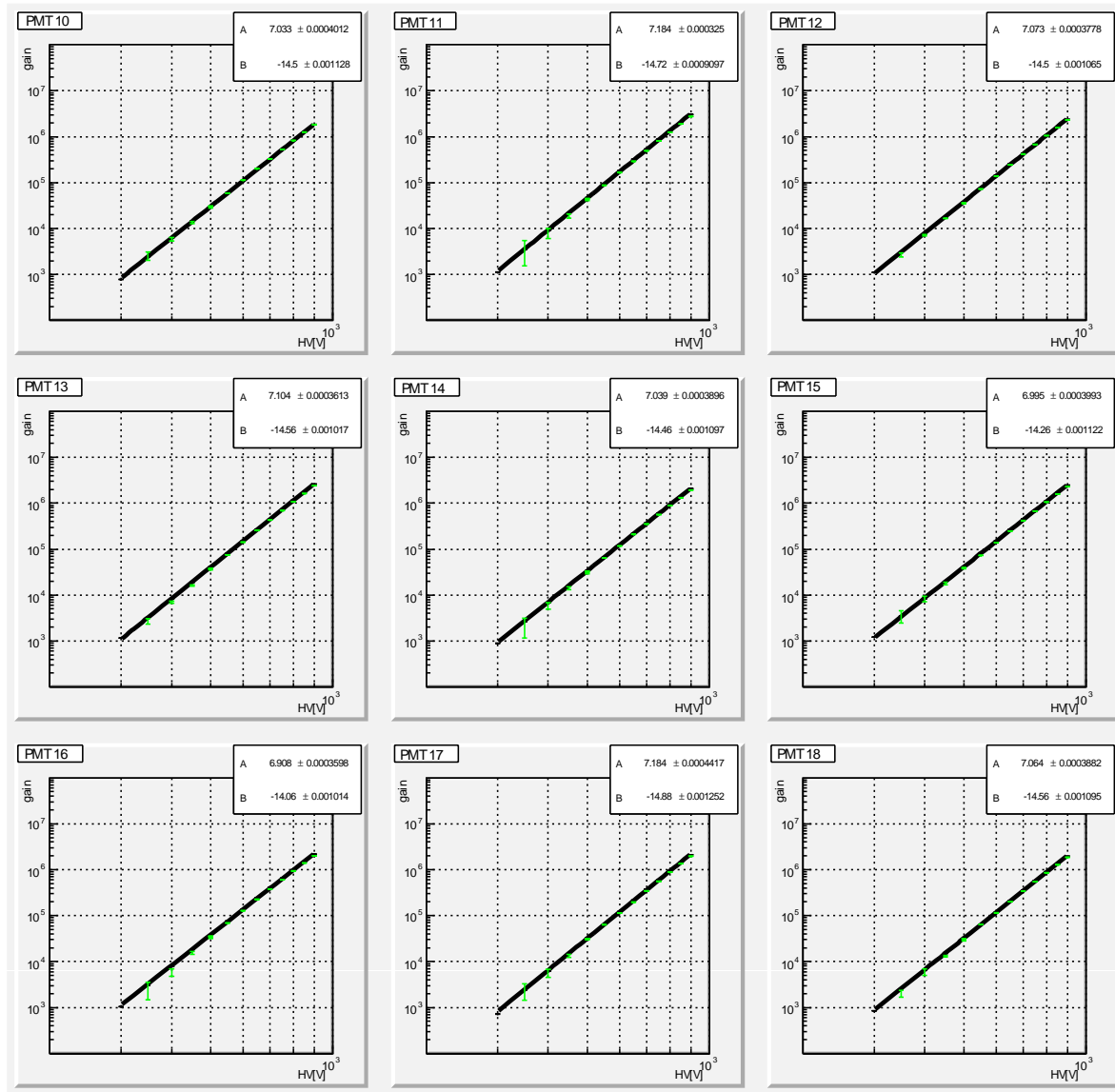
ATF2 IP-BSM

# PMT再試(No.1~9)



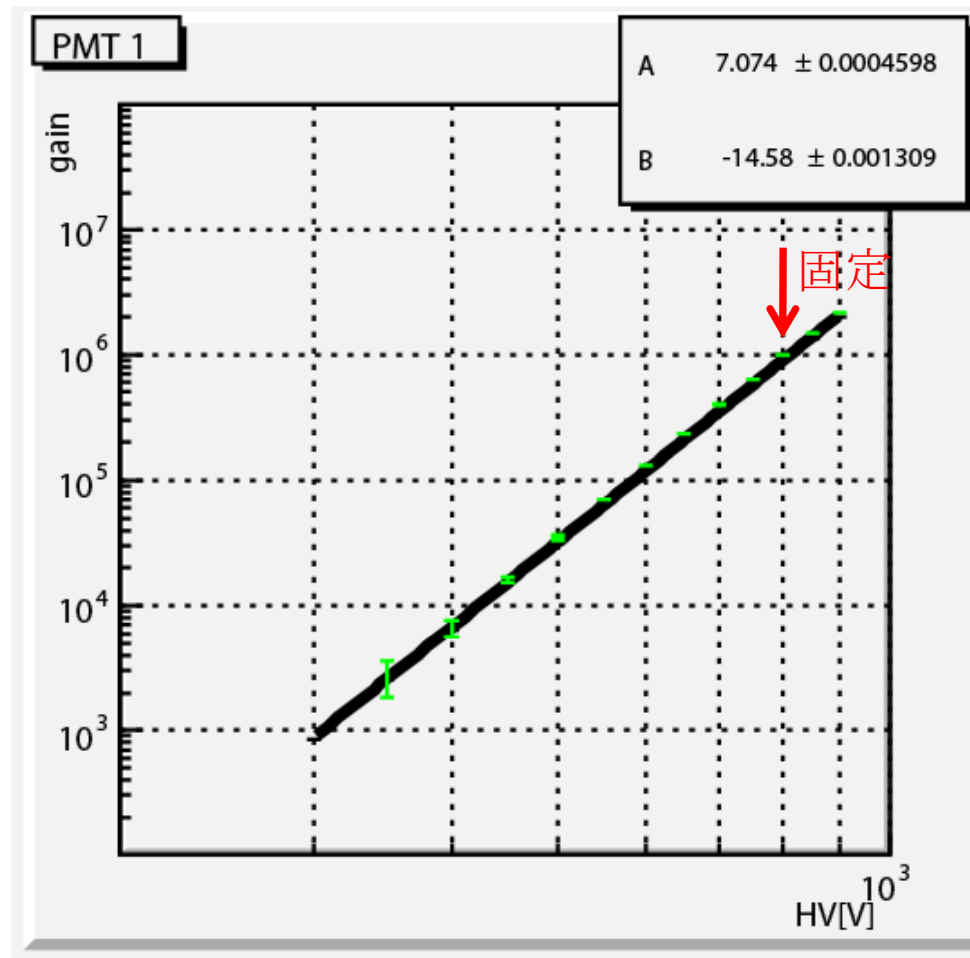
- 半年前との比較
- 緑：半年前
- 黒：今回の試験の結果をlog likelihood methodでfit
- 半年前のエラーバーが大きいのは、イベント数によるもの

# PMT再試(No.10~18)



- 半年前と比較した結果
- 緑：半年前
- 黒：今回の試験

# 誤差の評価



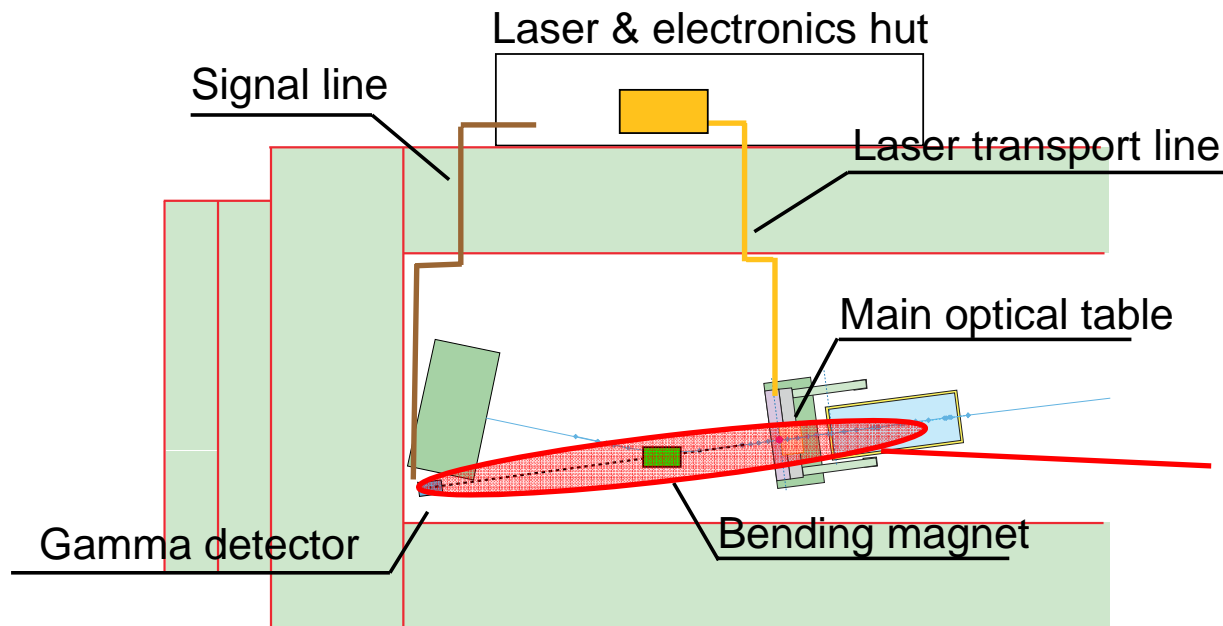
- 定格電圧の800Vは固定し、Fitした傾きの誤差の分だけ直線を振ってみた→300Vや400Vの低い電圧でどれ位の誤差になるか検証
- 結果：無視出来る程度  
ex) gain@300V  
大きく見積もった時...877.7  
小さく見積もった時...876.9

→結論

- ①PMTは低い電圧でも安定した挙動を示している
  - ②半年間でgain curveに有意な変化は見られない
- 続いて、PMTのリニアリティ試験を行う予定

# 検出器のアライメントについて

- 新竹定盤を動かして見通しがよくなった状態で、bend, Final Focus magnetのアライメントを行う時に同時に検出器の位置もアライメント（9/15以降）



このあたりの  
アライメント  
を一気に行う?

# 予定

- PMTのリニアリティ試験
- IP-BPMを入れた状態でチェンバーの真空引き
- 検出器の宇宙線を使ったキャリブレーション
- GEANTシミュレーション(バックグラウンドの量、ふらつきに対する分解能を評価)